

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	一人一人の1日の過ごし方を日誌やカードデックス等に記録しているが、個々の認知症ケアやご利用者の有する力の把握が入居・退去によって少し希薄になってきたように感じる。	一人一人のご利用者の個々の能力を把握し直し、さらによりよい認知症ケアにつなげていくことができるようにする。	日誌やカードデックスの記録方法を見直しつつ、個々の1日の過ごし方を把握していき、ご利用者の有する能力を発揮して頂く場を用意していくように努める。	6ヶ月
2	28	ご利用者や家族のニーズに対して柔軟に対応しているが、グループホームに留まらず、同事業所内のサービスにも興味をもたれる方も居られる。	ご利用者の興味がある事・ニーズに対して、希望に添うように柔軟に対応していくようにする。	普段の生活の中で生まれるニーズに関しては参加出来る様に対応していく。(地域で行われることへの参加、はつらつ教室等)	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。